ユーパ

EÜPA

TSI-R9147　冷蔵庫

REFRIGERATOR

CONTENTS

当社の冷蔵庫をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みのうえ、正しい使い方で末長くご愛用ください。お読みになった後、大切に保管して下さい。

取扱説明書　**保証書付き**

1. 安全のため必ずお守りください

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになって、正しくお使いください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠注意	人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例

○記号は、「禁止」（しないでください）を示します。

●記号は、「強制」（必ずしてください）を示します。

⚠ 警　告

電源は交流100V以外使わない
●火災・感電・故障の原因となります。

分岐コンセントを使用しない
●タコ足配線をすると、異常発熱して発火することがあります。
●定格15A以上のコンセントを単独使用してください。

電源プラグを冷蔵庫で押し付けない
●傷つき過熱し、発火の恐れがあります。

傷んだコードや電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わない
●ショート・漏電・過熱し、感電・発火の原因になります。

電源コードを傷付け、破損・加工・変形・たばねたり・引っ張ったり、無理に曲げたりしない
●重い物を載せたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

電源プラグはコードを持って抜かない
●コードが傷み感電やショートして発火することがあります。
●必ず電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを持たない
●感電やけがをすることがあります。

冷蔵庫の上に水を入れた容器を置かない
●こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電し、火災・感電の恐れがあります。

本体や庫内に水をかけない
●電気絶縁が低下し、感電・火災の恐れがあります。

可燃性スプレーを近くで使わない
●電気接点の花火で引火する危険があります。

引火しやすい物は入れない
●エーテル、ベンジン、LPガス、接着剤などは、引火爆発する危険があるます。

薬品や学術資料を保存しない
●厳しい管理の必要な物は、家庭用冷蔵庫で保存できません。

ドアにぶらさがったりドアに乗ったりしない
●倒れたり、手をはさんだりしてけがをすることがあります。

冷蔵庫の上に乗らない
●倒れて、けがをすることがあります。

分解・修理・改造は絶対にしない
●発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
●分解・修理が必要なときは、販売店へご相談ください。

アース（接地）を確実に行う
●故障などによる漏電により、感電する恐れがあります。
●アース工事は、必ず販売店に依頼してください。

土間などの湿気の多いところの設置は避ける
●電気絶縁が悪くなり、感電や火災の原因になります。

電源プラグはコードが下向きになるように差し込む
●逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・過熱し感電・発火の原因になります。

電源プラグの刃や刃の取り付け面のほこりは、よくふきとる
●電気絶縁が低下し、感電・火災の原因になります。

可燃性ガスが漏れているときは、冷蔵庫に触れず窓を開け換気する
●電気接点の花火で引火爆発し、火災や、やけどの原因になります。

お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く
●感電やけがをすることがあります。

幼児が閉じ込められると危険です。
●ドアパッキングはねじで、取り付けています。ねじを外して取ります。

⚠ 注　意

製氷室にビン類を入れない
●中身が凍って割れ、けがをすることがあります。

冷却器や製氷室の食品・容器をぬれた手で触れない
●凍傷になる恐れがあります。（特に金属製の物）

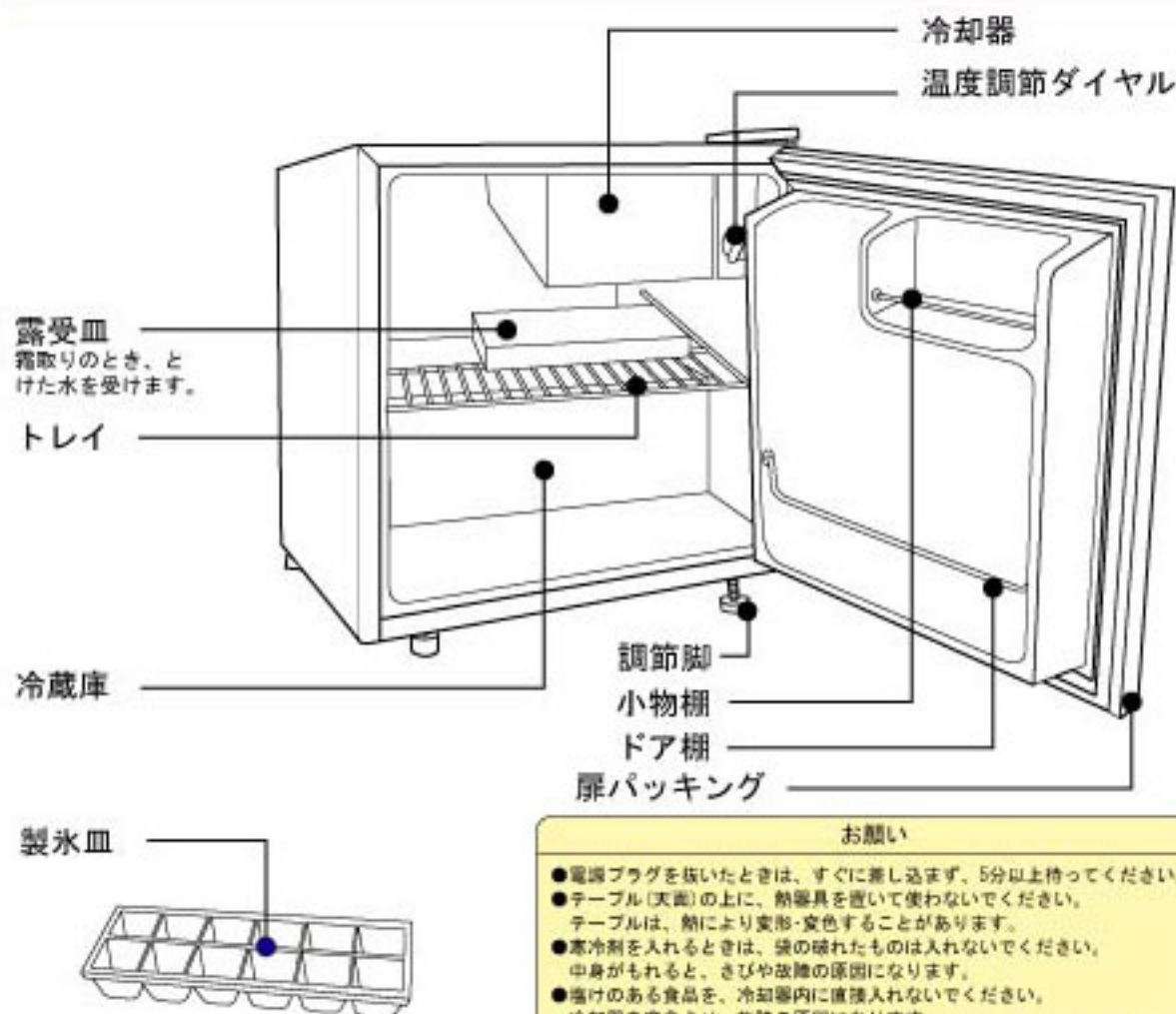
におったり、変色した食品は食べない
●腐敗により、病気の原因になることがあります。

圧縮器や配管に触れない
●運転中や停止直後の圧縮器や配線は高温になっていますので、やけどやけがの恐れがあります。

冷蔵庫底面に手を入れない
●清掃するとき、底面に手を入れると鉄板により手を切る恐れがあります。

移動させるときは、調節脚を上げる
●むりに移動させると床に傷付けます。
●傷の付きやすい床では保護用の板などを敷いてください。

運搬するときは調節脚と背面上部を持つ
●手がすべってけがをする恐れがあります。
●背面上部は手がすべらないように注意してください。

2.　各部のなまえとはたらき

お願い

- 電源プラグを抜いたときは、すぐに差し込まず、5分以上待ってください。
- テーブル（天面）の上に、熱器具を置いて使わないでください。
  テーブルは、熱により変形・変色することがあります。
- 保冷剤を入れるときは、袋の破れたものは入れないでください。
  中身がもれると、さびや故障の原因になります。
- 塩けのある食品を、冷却器内に直接入れないでください。
  冷却器を腐食させ、故障の原因になります。
  必ず、塩物は、ポリ袋やラップで包むか、密閉容器に入れてください。

3.　仕　　様

<table>
<tr><td colspan="2">電　　源</td><td colspan="2">交流100V　50 /60Hz</td><td>消費電力</td><td>50Hz/80W　　60Hz/90W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">消費電力量</td><td>50Hz</td><td>250(kWh/年)</td><td>20.8(kWh/月)</td><td rowspan="2">有効内容積</td><td rowspan="2">47L</td></tr>
<tr><td>60Hz</td><td>230(kWh/年)</td><td>19.2(kWh/月)</td></tr>
<tr><td colspan="2">冷蔵方式</td><td colspan="2">直冷式</td><td>ドア開き</td><td>右開き</td></tr>
<tr><td colspan="2">質　　量</td><td colspan="2">18.5kg</td><td>付属品</td><td>製氷皿、トレイ、露受皿</td></tr>
<tr><td colspan="2">大きさ（約）</td><td colspan="4">幅44.0cm×奥行49.6cm×高さ48.0cm</td></tr>
<tr><td colspan="6">消費電力量は日本工業規格(JIS　C9607)に定められた方法で測定した値で、年平均あたりの消費電力量を示します。</td></tr>
</table>

●製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。

4. 上手な食品の入れかた

設置をしたら．．．

庫内をふく
まず、庫内を清潔に。

十分に冷やしてから入れる
電源を入れてもすぐには冷えません。

夏場など外気温の高いとき、4時間以上かかることがあります。

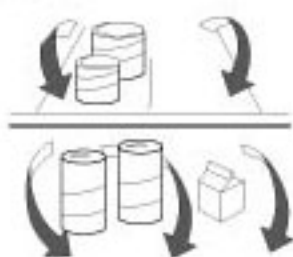
食品を入れるとき．．．

ふく!
意外と多くの汚れがついてます。

包む!
乾燥や移り香を防ぎます。

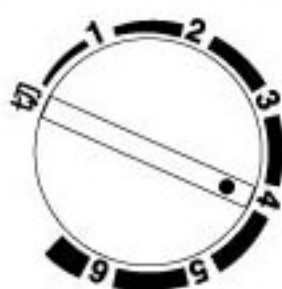
冷ます!
熱い物は庫内の温度を上げ、電気代のムダになります。

食品の入れかた．．．

すき間をあける
つめすぎると冷えにくくなります。

⚠ 注　意

●におったり、変色した食品は食べない。
腐敗により、病気の原因になることがあります。

5. 温度調節について

庫内の温度は、周囲温度や食品の量、ドアの開閉などによって影響されます。
●下表を目安の温度調節ダイヤルで調節してください。

目盛	庫内温度	使いかた
切	――――	冷却運転が停止します
1～2	約10～6℃	冬など周囲温度が5~20℃のとき
3～5	約6～3℃	夏など周囲温度が20～35℃のとき
6	約3～0℃	● 急いで食品を冷やしたいとき ● 氷を早く作りたいとき

●各表示温度は、周囲温度30℃、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの目安です。

お知らせ

●温度調節ダイヤル目盛を「6」で長時間使用すると、庫内の食品が凍結することがあります。
急いで冷やすなどのご用が済みましたら、元の目盛にもどしてください。

6. ご使用方法

氷の作りかた

1. 水を入れる(八分目まで)、冷却器の上に直接置く。
2. 温度調節ダイヤルを「7」以上にする。
3. 製氷が完了していることを確認のうえ、製氷皿の両端を持ってひねると氷が外れます。(氷ができましたら温度調節ダイヤルを元の位置にもどしてください。)

⚠ 注　　意

●製氷室にビン類を入れない
　中身が凍って割れ、けがをすることがあります。
●冷却器や製氷室の食品・容器をぬれた手で触れない。
　凍傷になる恐れがあります。(特に金属製の物)

お知らせ

●製氷皿をひねって氷を外すとき、氷の底部分が割れることがあります。
●製氷室で冷凍食品、アイスクリーム、氷などの保存はできません。
●温度調節ダイアル「5」以下では製氷できません。
●製氷皿はプラスチックですので時間が長くかかります。
　必要なときは早目に製氷してください。
●ジュースなどの糖分の多いものは凍るまでに時間がかかります。

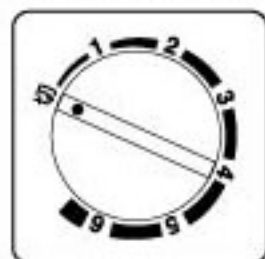
次のとき食品が凍ることがあります。
●周囲温度が5℃以下になったとき。
　温度調節ダイヤルを「1」・「2」に合わせてください。
　凍りにくくなります。
●温度調節ダイヤルを「7」で長時間使用されたとき。
　温度調節ダイヤルを元の位置にもどしてください。

お願い

●塩けの多いものを冷却器に直接触れさせないでください。冷却器を腐蝕させ故障の原因になります。

霜取りのしかた

冷却器に多量の霜がつきますと冷却力が低下し、電気代のムダになります。霜が約1cmつきましたら、霜取りを行なってください。

1. 製氷室の中にある食品、製氷皿を取り出す。
2. トレイ(露受け皿)の左側に置いてある食器を取り出す。
3. 温度調節ダイヤルを「切」にする。
4. 霜取りが終わりましたら、冷却器に付着した水を布でふきとる。
●トレイ(露受け皿)にたまった水を捨て、付着した水を布でふきとる。
5. 温度調節を元の位置に合わせ、庫内を十分に冷やしてから食品、製氷皿をを元の位置にもどす。

お願い

●霜取り時には、トレイ(露受け皿)の中に食品などを入れないでください。霜取りで溶け落ち、食品を傷めます。
●冷却器の霜や凍りついた容器などは、絶対に鋭利な刃物で取らないでください。
　冷却器に穴があき、冷媒が漏れて冷えなくなります。(これらによる故障は、修理できません)
●温度調節ダイヤルを「切」にした後、5分以上間をおいてください。(圧縮機にむりをかけないため)
●霜取り中は出来るだけドア開閉をひかえてください。

お知らせ

●自然融き霜取りのため、冬期など周囲温度が低いとき、霜取り時間が長くかかります。

7. こんなときは

停電したときは

ドアの開閉を減らし、新たな食品の保存はさける。(庫内温度上昇の防止)

塗装面に傷がついたときは

さびは紙やすりで落とし、早めに防水性壁紙をはる。

長時間使わないときは

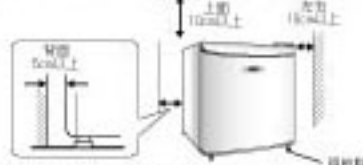
庫内を掃除し、2~3日間ドアを開けて乾燥させる(カビ・においの防止)

一度抜いた電源はすぐに差し込まない

圧縮機にむりがかかり故障の原因になります。

8. 設置と移動・運搬のしかた

放熱スペースをあける

●冷蔵庫は食品を冷やすため、周囲から熱を放出しています。
図のように上部10cm、後部5cm、左右10cm以上すき間をあけてください。

熱気・直射日光あたらないところ

●冷却力の低下をおさえ、電気代のムダを防きます。

湿気が少ない、風通しのよいところ

●さびの発生ををおさえ、電気代のムダを防きます。

丈夫で水平なところ

●調節脚を回し、固定をしてください。（振動や騒音の防止）
じゅうたん・たたみ・塩化ビニール製の床材は、下に丈夫な板を敷いてください。（熱による変色の防止）

移動・運搬の準備

●食品および製氷皿の水・氷を取り出す
●電源プラグを抜く。
●調節脚を上げる
●本体を、手前に引き出す。
（傷の付きやすい床では、保護用の板などを敷く）
●露受け皿にたまった水や、冷却器に付着した水滴をふきとる。

アース（接地）のしかた

感電防止のため、土間・洗い場の床・地下室など湿気や水気のある場所に設置するときは必ずアースをしてください。

●電源コンセントにアース端子がある場合
アース線（別売）を使い、背面下部のアース取り付けねじ（⏚ 記号）に接続してください。

●アース端子がない場合
お買い上げの販売店に依頼し、アース工事（第3種接地工事・有料）してください。

接続してはいけないところ

●水道管やガス管（爆発・引火の危険があります）
●電話線や避雷針のアース（落雷の危険があります）

特に水気の多い場所に設置する場合

●アースの他に漏電しゃ断器の設置が義務づ けられています。
くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

移動・運搬のしかた 運搬は、2人以上で。

●調節脚を締め直す ●調節脚および固定脚を持つ

お願い

●ドアを持って運んだり・横積みをしないでください。
（故障の原因）

お知らせ

●転居の場合、周波数(50/60Hz)の切り替えは不要です。

9. お手入れのしかた

ふだんは、からぶきで。年一回は電源プラグを抜き、
トレイ（露受け皿）を外してお手入れを。

1. 布にぬるま湯を含ませてふく。
汚れが落ちにくい場合は台所用洗剤を使いそのあと、ぬるま湯を含ませてふく
2. 水滴が残っていたら、さらにからぶきをする。

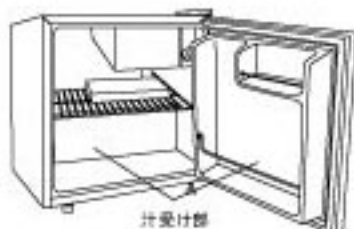
お手入れ後の点検

●電源コードに傷がありませんか？
●電源プラグが熱くなっていませんか？
●電源プラグがコンセントにしっかり差し込んでありますか？
不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

水洗いできる部品

●製氷皿
●トレイ（露受け皿）

汚れやすいところ

●ドアパッキングが汚れると傷みやすく冷気漏れの原因になります。
●汁受け部
汚れや汁がたまったらふきとる。

⚠ 注　　意

●冷蔵庫底面に手を入れない。
清掃するとき、底面に手を入れると鉄板により手を切る恐れがあります。

⚠ 警　　告

●ぬれた手で電源プラグを持たない。
感電ややけどをすることがあります。
●お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。
感電ややけどをすることがあります。
●本体や庫内に水をかけない。
電気絶縁が低下し、感電・火災の恐れがあります。

お願い

●食用油がついたときは、必ずふき取ってください。（プラスチックの割れ防止）
●次の物は使わないでください。（塗装面や部品を傷めます）みがき粉・粉せっけん・石油・熱湯・たわし・酸・ベンジン・シンナー・アルコールなど。
●化学ぞうきんをご使用の際、注意書きに従ってください。

10. 故障かな？

以下のことをお調べになり、なお異常のあるときは、すぐにお買い上げの販売店に品番TSI-R93と、詳細をお知らせください。

状　　況	お調べいただくところ
全く冷えない	● 電源プラグが抜けていませんか？　● ブレーカーなどが切れていませんか？ ● 停電ではありませんか？　● 温度調節が「切」になっていませんか？
よく冷えない	● 温度調節が「1」・「2」になっていませんか？● 冷却器に多量の霜が付き過ぎていませんか？ ● 冷蔵庫に直射日光が当たっていませんか　● 近くに発熱器具がありませんか？ ● 熱いものを入れていませんか？　● ドアをひんぱんに開けていませんか？ ● 食品を入れすぎていませんか？　● 周囲のすき間は、十分にあけてありますか？
食品が凍結する	● 温度調節が、「7」になっていませんか？　● 周囲温度が、5℃以下になっていませんか？ ● 冷却器の下に食品を置いていませんか？
庫内に露が付く	● ドアををひんぱんに開けていませんか？　● ドアはキッチリ閉まっていますか？ ● 熱い物や、水分の多い物を入れていませんか？
音がうるさい	● 床がしっかりしていますか？　● 据え付けにがたつきつきがありませんか？ ● 冷蔵庫の周囲のお皿などが落ち、ビビリ音を出していませんか？
庫内に水分がたまる	トレイ（露受け皿）は所定の位置にありますか？
外側に露が付く	● 湿度が高くなると露が付く場合があります。乾いた布でふいてください。
本体の表面が熱くなる	● 放熱パイプを内蔵し、露付き防止をしています。 使いはじめや夏場は、特に熱くなりますが、異常ではありません。

これが故障ではありません。

水の流れるような音（ポコポコ）がする	冷却装置内を流れる冷媒（ガス）の音で、停止中もすることがあります。

11. アフターサービスについて

1. 保証書は必ず「お買い上げ年月日」と「販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。保証期間中に修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店まで保証書を添えて商品をご持参ください。保証書の内容に従って販売店で修理いたします。

3. 保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって、機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

4. この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後９年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 製品に異常のある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。

6. アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店、または当社ご相談窓口にお問い合わせください。

燦坤（サンクン）日本電器株式会社　〒110-0016 東京都台東区台東1丁目24番1号

お客様専用ダイヤル　03-3837-1235

受付時間：月～金曜日　9時～12時／13時～16時（土、日曜、祝日はお休み）